

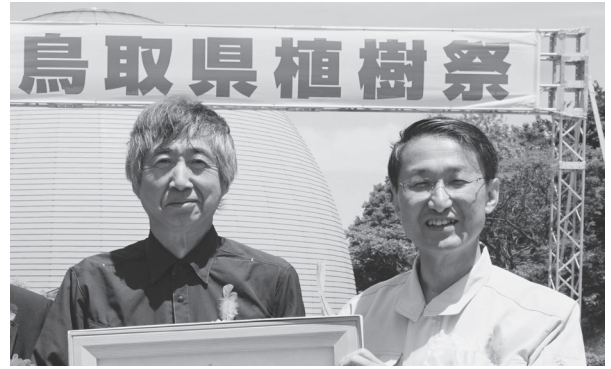


田植えをする参加者の皆さん

百人委員会にて企画提案されて始まったアフリカの田んぼの田植え。10回目となる今年も鳥取大学の留学生、鳥取西高等学校の生徒達が参加しました。泥に足を取られながらも丁寧に、両どりの人と会話をしながら手植えを体験しました。田植えの後は餅つき、昼食交流会などの催しがあり、お互いの国や地域、学校のことを知り、つながりを感じるイベントとなりました。

国際色豊かな田植え

5月25日(土)坂原集落



山本福壽さんと平井知事

杉塾が知事表彰されました！

5月11日(土)とっとり出合いの森

第64回鳥取県植樹祭において、「杉塾」が鳥取県美しい森づくり功労者として表彰され、塾長の山本福壽さんが平井知事から表彰状を授与されました。

杉塾は、「智頭の山人塾」などを通じて、県民に対する森林保全意識の醸成に貢献されています。山本塾長は、「今後も智頭の山でさまざまな活動を続けていきたい」と意気込んでいました。



園児の踊りで牛たちを応援！



最優秀賞の「やまきよ8」

畜産共進会を開催しました

5月22日(水)町民グラウンド

本町では、和牛の改良に力を入れる生産者の技術等の向上を図るため、鳥取県内では唯一、市町村単位の畜産共進会を開催しています。

第175回となる今回の畜産共進会には、7戸の生産者が20頭を出品し、最優秀賞には山村克則さんが出品した「やまきよ8」、優秀賞には岸本真広さんが出品した「ほしきくみ」が輝きました。

本町は、古くから畜産業が盛んであり、有名な種雄牛「20平茂」を生み出した歴史ある和牛産地として、全国から注目を集めています。

また、子どもたちや町民の皆さんに智頭牛に対する興味・関心を高めてもらうことや、地域の和牛生産を広くPRすることを目的に、保育園児を招いた審査見学や、園児の踊りの披露、智頭小学校2年生の牛の絵画コンクールを行い、会場を盛り上げました。